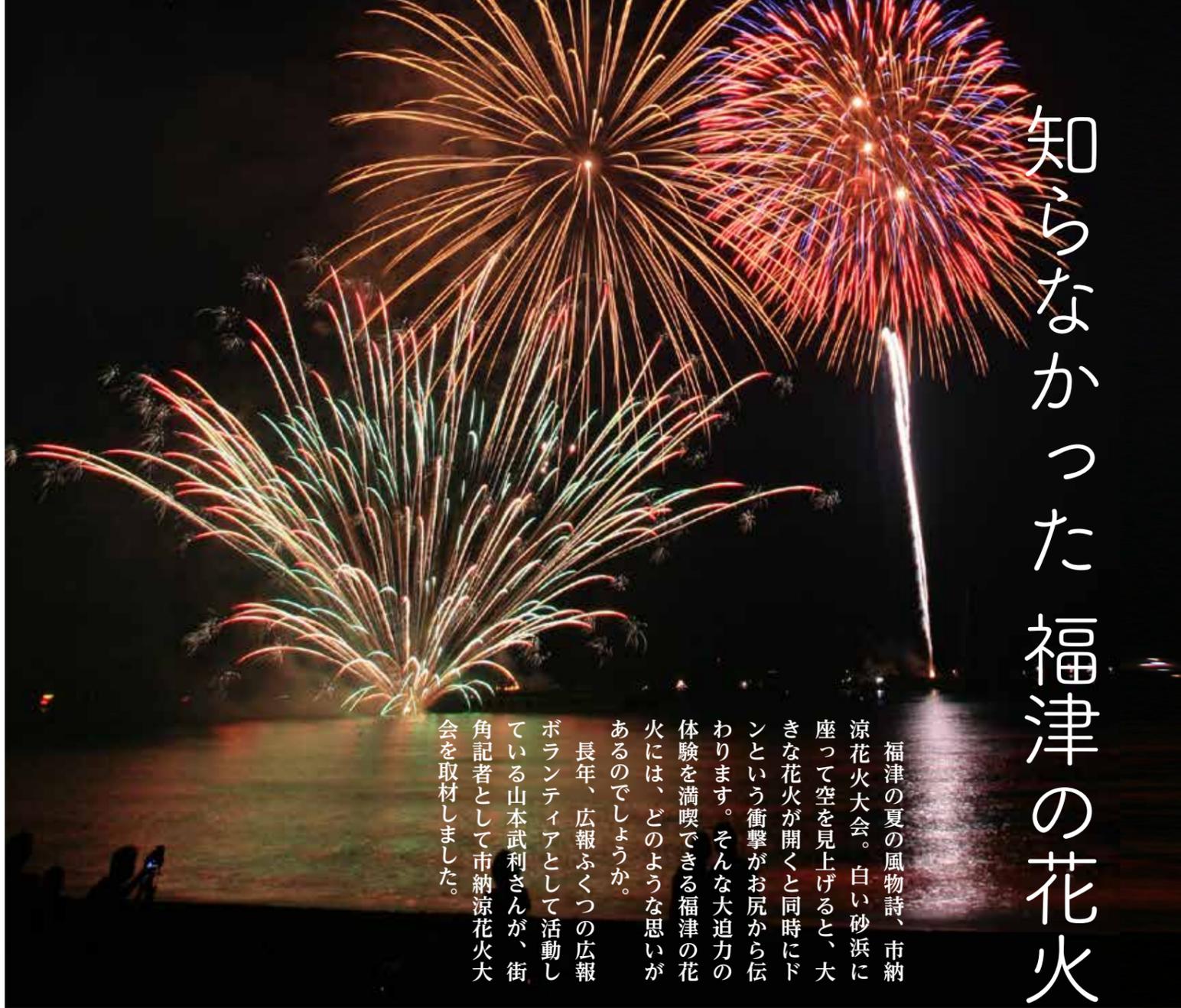


# 知らなかつた福津の花火大会のこと



福津の夏の風物詩、市納涼花火大会。白い砂浜に座って空を見上げると、大きな花火が開くと同時にドンという衝撃がお尻から伝わります。そんな大迫力の体験を満喫できる福津の花火には、どのような思いがあるのでしょうか。

長年、広報ふくつの広報ボランティアとして活動している山本武利さんが、街角記者として市納涼花火大会取材しました。

街角記者

山本武利



昭和36年に大和2区に移り住む。趣味は写真撮影と動画撮影で、NHKなどに投稿し、たびたび放映されている。

「街角記者が行く」とは、広報ふくつの広報ボランティアが市民を代表して、市や関連団体の取り組みなどを取材する新連載のコーナーです。記者の皆さんが率直に思っている疑問を、記者の皆さんの目線で、時には歯に衣着せぬ言葉で担当者に直接話を聞いてまとめます。

## 主催は市ではなかつた

市納涼花火大会は、福津の夏の風物詩として定着しています。以前、私は子どもや孫を連れて行ったり、カメラを抱えて撮影に行ったりしたものでした。

まずはこの花火大会のことを聞くために、ふくつ観光協会の中村留美事務局長を訪ねました。福津の花火大会はふくつ観光協会が開催しているそうです。私は、てっきり市が行っているものだと思っていたので驚きました。以前は福岡町観光協会(福岡町商工会内)が主催で、そのときから数えると、今年で47回目を迎えるそうです。



▲中村さんに話を聞く山本さん

## ミュージカルのような花火大会に

市は観光協会に補助金を出すほか、警察や海上保安庁、消防署などに開催の許可を取るために協力をしたり、市の公共施設の駐車場を貸し出ししたりしているそうです。また、当日は市職員を警備に当てるなどして協力しているとのこと。

福津の花火大会の会場は、津屋崎海岸から福岡海岸まで4kmの緩やかな弓状を描く砂浜の沖。ビルなどの視界をさえぎるものがないため、たくさんの人が観覧できることが特徴です。毎年5万人以上が来るそうです。しかも、都市部ではないので、より大きな花火を打ち上げることができると聞きました。

さらに、これまで3千発だった花火の打ち上げ数が、昨年から5千発に増発。音楽に合わせて打ち上げるミュージカルのような「音楽花火」を追加したそうです。

## 駐車場は遠いしシャトルバスは遅い

昨年から西福岡4丁目の県消防学校跡地の駐車場が一般用と

して使えなくなっています。いつも会場付近が大渋滞だったので、少しは良くなるのではないのでしょうか。また、住宅の開発が進む西福岡5丁目のサンピア福岡跡地は、警察の指導で、違法駐車対策として住民以外の進入が制限されると聞きました。

シャトルバスは、午後5時30分から午後10時まで、JR福岡駅と宮地浜の近くを結んで運行しますが、渋滞が予想されますので、徒歩または自転車の方が早く到着するでしょう。実は、私も以前、孫を連れてバスに乗りましたが、随分時間がかかりました。バスは、高齢者や体の不自由な人に譲ったほうがいいですね。

福岡駅からは徒歩で20分ちょっとで福岡海岸に着きます。自家用車の駐車場は、市役所や宮地嶽神社、カメラアホール周辺にもあるそうですが、そこから歩いて20分ほどで着きますよ。

## かけらが降ってしまった昨年の教訓を生かし

ところで、昨年は花火大会が台風で延期になりましたね。そのことを聞いてみると、波が高くて花火を打ち上げるための台



▲ふくつ観光協会の中村さん

船が福津の沖に出航できなくなったとのこと。このため9月に開催したところ、当日は風が海から陸に向かって吹いてしまい、花火のかけらが思いがけず宮司浜の住宅地に降ってしまったそうです。後で地元の人に聞いたところ、9月になると、風向きが変わるとのこと。中村さんは「近隣の地域の皆さんに大変なご迷惑をおかけしたことを反省しています」としきり言っていました。

今年8月5日(日)を予定していて、雨天荒天のときには、翌日、翌々日に延期するようにしているそうです。これも、昨年の反省を生かした日程とのことでした。

新連載

## 街角記者が行く

～広報ボランティアの取材報告～



# 夢をも叶える、福津の花火

**世界レベルの花火が  
上がっている**

福津の花火大会は、日本を代表する2つの花火大会が担当しているそうです。

株式会社ワキノアートファクトリーは、第3回世界花火師競技会で優勝した、音楽花火が得意な会社。ハウステンボスや関門海峡、北九州市のわっしょい百万夏まつりなどで花火を打ち上げています。時代に合わせた技術と伝統を組み合わせた花火



▲花火が打ち上がる仕組みを説明する西住さん

シヨの先駆者的存在です。また西日本花火有限会社は、

長年、市納涼花火大会を担っている会社です。福岡市の大濠公園や東区花火大会なども手掛けています。実際に宮若市の工場を訪ねてみると、倉庫の間には万一に備えて土が盛ってあったり、作業場の間には分厚いコンクリート壁があったりして、思ったとおり安全対策が徹底でした。

**福津出身の青年が  
打ち上げている**

西日本花火有限会社で出迎えてくれた西住隆也さん(24)は、なんと福津出身。小学生の時に福間海岸で見た花火に感動し、自分も打ち上げたいと決心。両親はその夢は変わるだろうと思っていたそうです。しかし花火師を目指して、高校の進路面談でもその夢を語りました。花火師は命の危険もある仕事。それでも西住さんの決意は固く、西日本花火に就職しました。そし

て、6年目の昨年、福津の海に自分の花火を打ち上げました。

**初めて見た  
花火の作り方**

西住さんに話を聞いた後、花火を作る工程を見学しました。花火の火薬には、光るものと破裂するものがあります。まず、小さな植物の種などに光る火薬を巻き、それに木炭の粉をかぶせ、さらに光る火薬で覆います。これを繰り返すと長い時間輝くビー玉くらいの粒ができます。この粒のことを星と呼ぶそうです。この星を玉皮という紙製の半球に敷き並べ、中心に破裂する火薬を置きます。導火線が付いたもう1つの玉皮にも同じように配置し、2つの面を合体させ、1発の丸い花火の玉になります。さらにクラフト紙を貼り、乾燥させて本番を待ちます。ミカンを入れるオレンジ色のケースに詰まっている様子は、まるで果物屋さんのようでした。花火の規格は、その直径を寸



市納涼花火大会の終盤で使われる尺玉

**花火大会は  
みんなの力でできている**

ふくつ観光協会の中村さんによると、花火大会の費用は打ち上げる花火代だけでなく、警備などの安全対策や仮設トイレなど、一千万円を超えるとのこと。協会の会員や市内の事業者などから協賛金を募っているそうですが、年々減っているようです。そこで、応援ポロシャツなどを販売して、その利益を全て花火大会に使っているそうです。今年はシャツの色が29種類と音楽の五線譜に花火をあしらった図柄が5色、合わせて145通りの組み合わせがあります。市内の事業所の中には、これを職場のユニフォームにしている所

もあるそうです。

また、福間駅のふつくるでは、宮地嶽神社エールや鯛塩ラーメンなども売っています。収益は事業費に使われるそうで、福津のお土産にもいいですね。なお、市内外の店舗に募金箱を置いています。

大変な苦勞をして、どうして花火大会を続けるのか。中村さんは「花火大会は子どもたちの財産。自分のまちに花火大会があることは、いつまでも心に残ります。1年に1回、浴衣を着て、履きなれない下駄で歩く。夜の砂の上を歩く。その感覚が、ふるさと福津の思い出になるのです」と話していました。音楽花火の曲も、福津の花火を思い出すきっかけになりますね。



市花火大会の応援ポロシャツ。  
150~LLは2,000円、  
3L~5Lは2,200円



▲宮地嶽神社エール。  
ノンアルコールの酔わない御神酒。  
1本270円



▲鯛塩ラーメン。  
福津といえば鯛。  
おいしい鯛のエキスがたっぷり。  
2食入り700円

また、花火大会の翌朝には、市内の中学生がゴミ拾いをしてくれています。地域と密接に関わる花火大会とも言えますね。福津出身の中村さんは、別のまちで暮らした後、福津に帰ってきた1人。花火大会の思い出

も、福津に帰ってきた理由の1つなのかも知れません。私は、ここ数年、自宅で花火の音だけを聞いていましたが、運営する人の努力や熱意を聞いて、今年は特別な思いで海岸に行きたいと思いました。

## 今年の市納涼花火大会

日時 **8月5日(日)**  
**20:00~**

※延期日は8月6日(月)、  
8月7日(火)

場所 **福間・宮地浜  
・津屋崎海岸**

**大迫力の花火を  
音楽とともに体感しよう**

ぶどうの樹福津海岸通り前に音楽花火を一番楽しめる観覧席を準備しました。砂浜に座って大迫力の花火を見ませんか。曲調に合わせて上がる花火は圧巻です。90cm角のシートを当日配ります。なお、音楽花火の音響設備はこのエリアのみです。

費用 中学生以上1人2千円  
小学生1人千円

購入場所 ふくつ観光協会、チケットぴあ、ローソンチケット

**ボランティアカメラマンを  
募集しています**

花火が正面から見える席で写真を撮りませんか。福津の観光のために活動してくれるボランティアを募集します。ただし、ここで撮影した写真はふくつ観光協会に今後の広報用としてご提供いただきます。

費用 無料  
定員 若干名  
※写真技術など考慮します

問い合わせ ふくつ観光協会 (JR福間駅2階ふつくる) ☎42・9988

新連載

街角記者が行く

~広報ボランティアの取材報告~

